

平成二十八年十二月射水市議会定例会

市長提案理由説明要旨

平成二十八年十二月射水市議会定例会の開会に当たり、提出いたしました案件の説明に先立ちまして、一言申し上げます。

はじめに

これまで数年にわたり、国に対して強く要望してまいりました市内小中学校の老朽化に伴う大規模改造等につきましては、このたび、国の平成二十八年度第二次補正予算において交付金の内示を受けたことから、本年度事業に着手できる見込みとなりました。

市といたしましては、射水市の将来を担う子どもたちが、安全・安心が確保された学校施設において、いきいきと学習に取り組むことができる教育環境を整備するため、これまで様々な機会を捉え、国に対し精力的に要望活動を行ってきたところであり、この交付金採択に対し、私どもを力強く支えていただきました県選出国會議員はじめ、県議會議員、市議會議員各位、そして多くの関係者の方々に、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。今後は、一日も早い事業の完了を目指して、鋭意整備を進めてまいります。

さて、平成二十八年も残りわずかとなってまいりました。

本市の一年を振り返りますと、まずはなんと申しまして、市政の最重要課題として整備を進めてまいりましたこの新庁舎の完成が、一番の大きな出来事として挙げられます。

一本庁舎二分庁舎体制で業務を開始し、早や二か月が経過しようとしておりますが、新庁舎及び各地区センターにおける窓口業務では、かねてより目標として掲げてまいりました「迷わない、待たない、手間取らない窓口」が順調にスタートしたものと考えております。

この新庁舎整備につきましては、防災・減災対策の拠点という役割はもちろんのこと、本年九月に策定した射水市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の集約化を図る先行事例としても大変意義のある取組と言えるかと思えます。

引き続き、現体制の下、効率的な行政運営に努めるとともに、市民サービスの向上を図ってまいります。

なお、旧庁舎の跡地利用につきましては、かねてご説明しております活用方針に基づき、具体化に向けた取組を進めており、このうち、旧小杉庁舎跡地につきましては、公募型プロポーザルを実施した結果、片山学園初等科の設置を提案されました学校法人片山学園を優先交渉事業者として選定いたしました。

去る十月十八日に跡地利活用事業に関する基本協定を締結したところであり、引き続き、土地等財産の取扱いについて協議を進めてまいります。

また、本年を振り返る上で、忘れてはならないのが、本市出身の田知本遥選手がリオデジャネイロオリンピックク柔道女子七十キロ級において見事金メダルを獲得されたという快挙であります。

パブリックビューイングでの大きな声援や会場の熱気、そして何より市民に大きな感動と勇気を与えていただいたすばらしい戦いは、今でも鮮明に蘇ってまいります。

市民栄誉賞の授与第一号として、ふさわしいご功績であったと思っております、田知本選手の今後ますますのご活躍を期待しております。

来る平成二十九年が本市にとり、更なる飛躍を遂げる年となりますよう、第二次総合計画並びに射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進し、人口減少の克服と地域の活性化に果敢にチャレンジしてまいりますので、引き続き、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

一 最近の経済情勢について

次に、最近の経済情勢について申し上げます。

我が国の景気は、このところ弱さもみられるものの、緩やかな回復基調が続いているとしております。また、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復に向かうことが期待されておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとしております。

こうした中、政府においては、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現するため、引き続き「経済財政運営と改革の基本方針二〇一六」、「まち・ひと・しごと創生基本方針二〇一六」及び「ニッポン一億総活躍プラン」等を着実に実行するとともに、年度内を目途に働き方改革の具体的な実行計画を取りまとめることとしております。

本市といたしましても、平成二十八年度第二次補正予算において措置された各事業を早急に執行し、地域経済を強力に後押ししてまいります。

二 新年度予算編成方針について

次に、新年度予算編成方針について申し上げます。

本市の新年度の財政見通しにつきましては、歳入については、経済成長や北陸新幹線開業による償却資産の増などに伴い、固定資産税を中心に一定程度の増収を見込んでおります。しかしながら、地方交付税及びその代替財源である臨時財政対策債の合計額につきましては、市税の増収の影響に加え、平成二十九年地方財政計画見通しや市町村合併による特例措置の段階的縮小の影響を考慮し、大幅な減収を見込んでおり、一般財源の総額として、今年度の水準を下回るものと予測しております。

一方、歳出につきましては、義務的経費において、この間の市債の繰上償還により、公債費で一定程度の減が見込まれるほか、政策的経費におきましても、新庁舎やデジタル防災行政無線システムの整備が完了したことなどに伴い、大幅な減となる見通しではありますが、社会保障関係経費の一層の伸びや公共施設等の老朽化に伴う予防修繕といった新たな負担が見込まれることから、現時点では、今年度を上回る財源不足が生じる恐れがあると考えております。

こうした財政状況を踏まえ、予算編成に当たっては、事務事業の優先順位を再度厳しく検証するほか、国・県等の補助金を最大限活用するなど、財源確保に向け、職員一丸となって全力を挙げて取り組むこととしております。

また、第二次総合計画の着実な推進を予算編成の基本方針に掲げ、市民サービスの質の向上に引き続き取り組むとともに、人口増加や将来の経済成長を図るため、「未来への投資を加速させる特別枠」を新たに設け、若い世代の定着につながる施策に加え、子育てに係る負担軽減や女性の活躍など対象分野を拡大し、未来への投資と位置付けられる事業を積極的に展開してまいります。

三 地方創生について

次に、地方創生について申し上げます。

連携中枢都市圏の形成につきましては、去る十月三日に、他の呉西五市との間において、とやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結いたしました。

今後、とやま呉西圏域都市圏ビジョンに掲げる各種施策を着実に推進し、人口減少の克服

と地域の活性化に取り組み、圏域の魅力を高めるとともに、市民の幸せの実現を図ってまいります。

四 市政の取組状況について

次に、最近の市政の取組状況について申し上げます。

子ども・子育て支援の推進につきましては、旧大門庁舎を活用し、妊娠から子育て期まで切れ目のない支援を行う拠点施設として、（仮称）子ども子育て総合支援施設の整備を進めており、現在、子育て支援センターや幼児ことばの教室等を配置する二階・三階部分を中心に、第二期工事を行っております。

また、利用者の利便性の更なる向上を図るため、施設西側入口付近に、おもいやり駐車場を設置するなど、周辺環境を整えるための予算を今議会に提出しており、来年四月のオープンに向けて、引き続き、整備を進めてまいります。

婚活事業の推進につきましては、結婚を希望する市民の方々を支援するため、「射水市婚活

サポーターズクラブ」を設立いたします。クラブでは、結婚を希望する方々へのアドバイスやイベントの開催による出会いの場の創出等、独身男女の新たな出会いを積極的に支援することとしております。

学校教育の充実につきましては、去る十月九日に東京都府中市で開催されました第十六回東日本学校吹奏楽大会において、小杉中学校が金賞、新湊中学校が銀賞を受賞いたしました。この栄誉は、生徒の皆さんが日ごろの練習の成果を如何なく発揮された結果であり、心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍を期待しております。

スポーツ・レクリエーションの推進につきましては、去る十月三十日、秋晴れの下「とやまマラソン二〇一六」が開催され、フルマラソンコースの沿道では、新湊の曳山、獅子舞、流鏑馬等の伝統芸能、近隣の住民の方々や小・中学生による応援、更には、ボランティアの皆様による給水所の運営等、昨年にも増して市民が一体となったおもてなしで、「海と大地の恵み射水市エリア」を発信できたものと考えております。

また、今回新たに設けられた新湊大橋上を折り返し地点とする「ジョギングの部」には、千名を超えるランナーが参加され、フルマラソン同様、本市が誇る新湊大橋から望む富山湾

と立山連峰の雄大な眺望を満喫いただけたことと思っております。

高齢社会対策の推進につきましては、去る九月末に医師会やケアマネージャー等からなる在宅医療・介護連携推進協議会を設立いたしました。

協議会では、連携に係る課題の抽出や対応策の検討、また、医療・介護関係者の研修会を実施するなど、在宅医療・介護連携の体制をより一層強化することとしており、引き続き、地域包括ケアシステム構築に取り組んでまいります。

地域での支え合い体制の整備につきましては、高齢者が自立した日常生活を営むことができるよう、支え合いモデル事業に取り組む地区に対し支援することとしており、あわせて、介護保険サービス事業所向けの説明会や介護予防ケアマネジメント方法等の協議を通じて、介護サービス提供体制の確保等に努めてまいります。

また、高齢者の健康寿命延伸を図る介護予防対策として、「きららか射水一〇〇歳体操」の射水市版DVDを活用し、さらなる普及啓発を進めてまいります。

市民病院における質の高い医療の提供につきましては、かねてより整備を進めてまいりました厚生棟が先月完成し、今月十二日から、エントランスホールでの受付業務等を開始いた

します。

今後は、売店やレストランが順次オープンする予定であり、明年一月末の来院者用駐車場等の完成をもって、明るく開放的な雰囲気となった新しい市民病院が全面オープンとなります。

今後とも射水市民の安全・安心を確保し、市民の皆様から最も信頼され親しまれる病院を目指してまいります。

観光の振興につきましては、射水の秋を彩る曳山まつりが、九月二十二日の海老江地区を皮切りに、新湊・大門の市内三地区で開催されました。中でも、十月一日の新湊曳山まつりは、映画「人生の約束」の公開や土曜日の開催ということもあり、かつてないほど大勢の観光客の方々に豪華絢爛な曳山をご覧いただけたものと考えております。

来年の開催は日曜日となり、更なる観光客の増加が予想されることから、観光客への対応等、万全な受け入れ態勢の構築に向けて、関係団体の皆様と協議してまいります。

港湾機能の整備促進とみなとまちづくりにつきましては、コンテナ船の大型化やコンテナ取扱量の増加に対応するため、現在、国際物流ターミナルの岸壁延伸やコンテナヤードの拡

張工事が進められており、早期の完成に向け、引き続き、国関係機関等に働きかけてまいります。

森林・林業の振興につきましては、去る六月に県内で発生した「ため池」事故を教訓として、市内四十九か所のため池において、県とともに安全柵、安全啓蒙看板、救助ロープ等の整備に着手いたします。

今後とも、市内のため池の安全確保に万全を期してまいります。

新斎場の建設につきましては、整備計画を策定するため、去る十月十一日に有識者や各種団体等で組織する「射水市新斎場整備基本計画検討委員会」を設置いたしました。

今後は、検討委員会での協議を踏まえ、市民の皆様には斎場施設の概要やイメージをお示しするなど、引き続き、建設へのご理解が深まるよう努めてまいります。

防災・減災対策の推進につきましては、去る十一月二十九日、消防庁による「アラート全国一斉情報伝達訓練が実施され、これに合わせて本市においても、新しいデジタル防災行政無線システムにより、災害時の情報伝達等の確認を行ったところであります。

今後もデジタル防災行政無線を適切に運用し、災害に強いまちづくりを推進するとともに、適宜、行政情報を提供するなど、市民生活の利便性の向上も図ってまいります。

消防体制の充実につきましては、このたび、消防車両更新計画に基づき、三十メートル級はしご付き消防車を新たに配備いたしました。この車両は、県内初となる先端屈折装置を装備し、電線等の障害物に対応できるほか、建物の高層階のみならず、河川等で発生した水難事故での救助活動にも活用できる性能を有しております。

こうした高機能消防車等もフル活用し、引き続き、火災をはじめとする各種災害に迅速に対応するとともに、防災力の強化に取り組んでまいります。

雪対策の推進につきましては、除雪機械の適正配備を図るとともに、迅速かつ丁寧な除排雪を行うため、今月一日に「道路除雪対策本部」を設置いたしました。

新潟地方気象台が先月下旬に発表した三か月予報では、今冬は気温、降雪量ともほぼ平年並みの見込みとされているところですが、冬期間における安全で快適な市民生活を確保するため、市民の皆様には、除排雪にご理解いただきますとともに、地域での除排雪についてご協力をお願い申し上げます。

健全な行財政運営の推進につきましては、公共施設等の適正管理における課題について、市民の皆様と情報の共有を図り、将来のあるべき姿をとともに考える契機とするためのシンポジウムを、来る二月二十六日に開催することとしております。

本市の規模に見合った公共施設等のあり方について認識を深めていただくため、多くの市民の方々にご参加いただきたいと思います。

五 提出案件について

次に、提出いたしました案件の概要について申し上げます。

まず、一般会計補正予算について申し上げます。

今回の補正は、(仮称)子ども子育て総合支援施設整備の経費等を追加するものであります。補正額としましては、二億四千七百三十三万九千円を増額し、予算総額を四百三十八億一千九百六十七万円とするものであります。

特別会計につきましては、すべての会計において、総額で二千九百五十五万九千円を減額

し、予算総額を三百九十八億三百五十八万七千円とするものであります。

次に、予算以外の議案について申し上げます。

条例議案としましては、「射水市子ども医療費助成に関する条例の一部改正」など五件を提出しております。

条例以外の議案としましては、「字の区域の変更及び廃止について」など、七件を提出しております。

報告案件につきましては、地方自治法第百八十条の規定による専決処分の報告を一件提出しております。

以上が、本日提案いたしました案件の概要であります。

何とぞ、慎重審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。